

尿検査



- 健康診断でも行なわれる尿検査みなさんも受けたことがあるかと思います。
尿検査では腎臓尿管糖尿病肝臓などの色々な臓器の異常や病気の徴候を見ることが出来ます。

★尿検査で何を測定して何がわかるのか？主な検査項目を説明します。

- 尿蛋白** ● 腎臓から尿道までに障害があるかを調べます。
異常値があると腎炎糖尿病腎症膀胱炎などが疑われます。
※健康な方でも発熱運動後ストレスなどでも異常値が出る場合があります。

- 尿糖** ● 尿糖が出ると糖尿病の発見につながります。
※妊婦疲労などで糖が出やすくなることもあります。

- 尿潜血** ● 肉眼ではわからない血液を検出して尿管からの出血を調べます。
潜血反応がある場合は腎炎尿管結石尿道炎などが疑われます。
※女性の方は生理前後だと陽性が出ることもあります。

- ウロビリゲン** ● 肝臓胆のう機能異常の有無を調べます。
※発熱疲労便秘や飲酒などで陽性が出る場合があります。

★尿のチェックポイント

- ・ 色 (血が混っていないか、目に見えて赤い、白く濁っている)
- ・ ニオイ
- ・ 回数 (多くなっているまたは少なくなっている)
- ・ 排尿時の痛みやむくみ

★ 普段から尿チェックすることは大切で異常に気づくことにより糖尿病腎臓病などの病気を早期に発見することが出来ます。

尿検査はいつでも簡単に出来る検査ですので何か気になる症状がありましたらご相談下さい。